



## 被服科学を通じた「健康」関連の教育と研究

人間科学部 教授 高橋 哲也

健康は被服素材との関係が大きく、運動機能も着用しているウェアに大きく依存します。人の動きに適正に追従し、サポートする被服素材について研究しています。また、健康生活を維持するための抗菌、消臭、UVカットなど、機能性を有する健康衣料素材について幅広い観点からの教育や研究を行っています。

高橋研究室では、健康や生活環境と被服との関係について着目し、常に最先端の研究を行うように努めています。自ら南極観測隊員として南極地域でUVカット繊維の研究を行ったり、産業廃棄物である茶殻などから新規な機能性材料を創製したり、常にロマンのある研究を追求しています。

- ・ 香りを徐放し続けるアロマテラピー効果を生かした快適性被服素材
- ・ 茶カテキンを利用した抗菌・消臭性の高機能素材
- ・ オゾンホール発生時の南極におけるUVカット被服素材の効果
- ・ 金属イオン担持ゼオライトを用いた被洗布の抗菌特性
- ・ 光触媒酸化チタンの添加による抗菌・消臭性に優れたレーヨン繊維
- ・ 合成化合物を添加したポリプロピレン繊維の防汚性

